

放課後等デイサービス のどか 令和 7 年度 事業計画

1 放課後等デイサービスの運営

2 法人方針

- (1) 子どもたちの安全を保障します
- (2) 地域と調和し子どもたちを育てます
- (3) 子どもたちの主体性を育てます

3 のどか運営方針

- ・子どもの居場所となるような事業所を目指します
- ・子どもと家族が笑顔でいられるように協力・相談し支援します。
- ・安全に配慮し、子どもたちが安心して自分らしく居ることができる場所をつくります。
- ・様々な事を体験し、仲間と喜びや成長を共に感じられるあたたかい場所づくりを目指します。

4 支援内容

- (1) 職員数 10 名(管理者 1 名 児童発達支援管理責任者 1 名 ケアワーカー 8 名)
- (2) 利用者数 定員 10 名
- (3) サービス提供時間

平日(放課後)	午後 2 時 30 分～午後 5 時 30 分
学校休業日	午前 10 時～午後 4 時

(4) サービス提供プログラム

- ・各家庭より来所
- ・午前 休日プログラム(創作・レクリエーション・調理・自由遊び等) ※学校休業日
- ・昼食(お弁当) ※学校休業日
- ・午後 休日プログラム(創作・レクリエーション・野外活動等) ※学校休業日
- ・自由遊び・個別作業課題をする

自由遊びにおいては、のどかで提供している学習玩具や運動器具、工作等を通じて運動能力や作業スキルの向上を目指す。また遊びの中で他者との関係やコミュニケーションを学ぶ。

個別作業課題においては、各々の支援目標に応じて必要なスキルが身につけられるような作業課題・学習課題(宿題を含む)を用意して取り組む。高年齢児童に対しては特に就労を意識した課題やコミュニケーション能力向上の形成に取り組む。

- ・おやつを食べる
- ・集団活動

集団活動においては、特に他者とのコミュニケーション能力や社会性が身につけられるような、集団を意識したプログラムを行う。一方で、集団の中での集中力を身につけられる等の集団でのクッキング、学習課題(コグトレ、脳トレ等)も行う。

また、音楽やダンス、スポーツを取り入れた活動によって運動能力の向上を目指す。

- ・帰りの支度をして帰る(送迎車、お迎え)

(5) 年間行事予定

- ・毎月活動カレンダーを保護者に配布する。
 - 初詣・節分・お雛様・七夕・夏まつり・ハロウィン・クリスマス会等季節の行事
 - お誕生日会
 - プレイルームや体育館、町民プール公園を利用した運動・遊び
 - ソーシャルスキルの向上やコグトレを目的としたプリント課題やゲーム等
 - 生活スキルを身につけることを目的とした調理や買い物練習等
 - 長期休みを利用して工場や施設見学等の野外活動
 - 避難訓練、消火訓練
 - 保護者会
- ・個々の目標に応じて個別に課題を行う。
 - プリントや器具・工具を用いた就労に向けての作業スキルの向上
 - パソコンを用いて操作・入力・プログラミングのスキルを向上
 - プリントやタブレットを用いた空間や時間、数等の概念形成の習得
 - 絵カードやスケジュール表を用いた基礎的コミュニケーションの習得
- ・その日の活動の様子を保護者の方へ SNS や写真などで報告をしていく。

(6) 家庭支援

- ・個別の連絡帳、送迎時の伝達、お便り
- ・個別相談(社会福祉士・社会福祉主事・作業療法士等による子育て相談に対応)

5 その他

次年度も引き続き、まずは子どもたちにとって安心して楽しく過ごせる居場所となるように努めていく。その上で、保護者等と共に子どもの現状や将来のことについてよく相談したうえで支援計画を作成し、それに基づいた専門的支援を行っていく。また職員一同、支援の5領域(「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」)を意識して支援を行っていく。個別支援計画の作成にあたっては、職員会議やサービス提供内容の企画会議に外部講師としてスーパーバイザーを招聘し、

専門的な支援に関する質の確保に努める。

保護者との信頼関係の構築においては、送迎時や随時 LINE 等を通じて連絡を取り合っ
て子どもの情報を共有し、必要に応じて相談支援専門員等の外部の意見を伺いながらよ
り良い支援になっていくように努める。地域に対しては、Instagram 等の SNS を通じて
情報発信をしたり、常日頃から地域の社会資源を意識的に利用すること等によって、地域
に広く認知され、受け入れられる施設になるよう行動する。

不登校の子どもの利用も受け入れ、学校以外の居場所になり子ども同士、職員との関係作
りにより不登校改善の為の支援をしていく。